

2024年10月期第3四半期 決算説明資料

セルソース株式会社（東証プライム 4880）

2024年9月12日

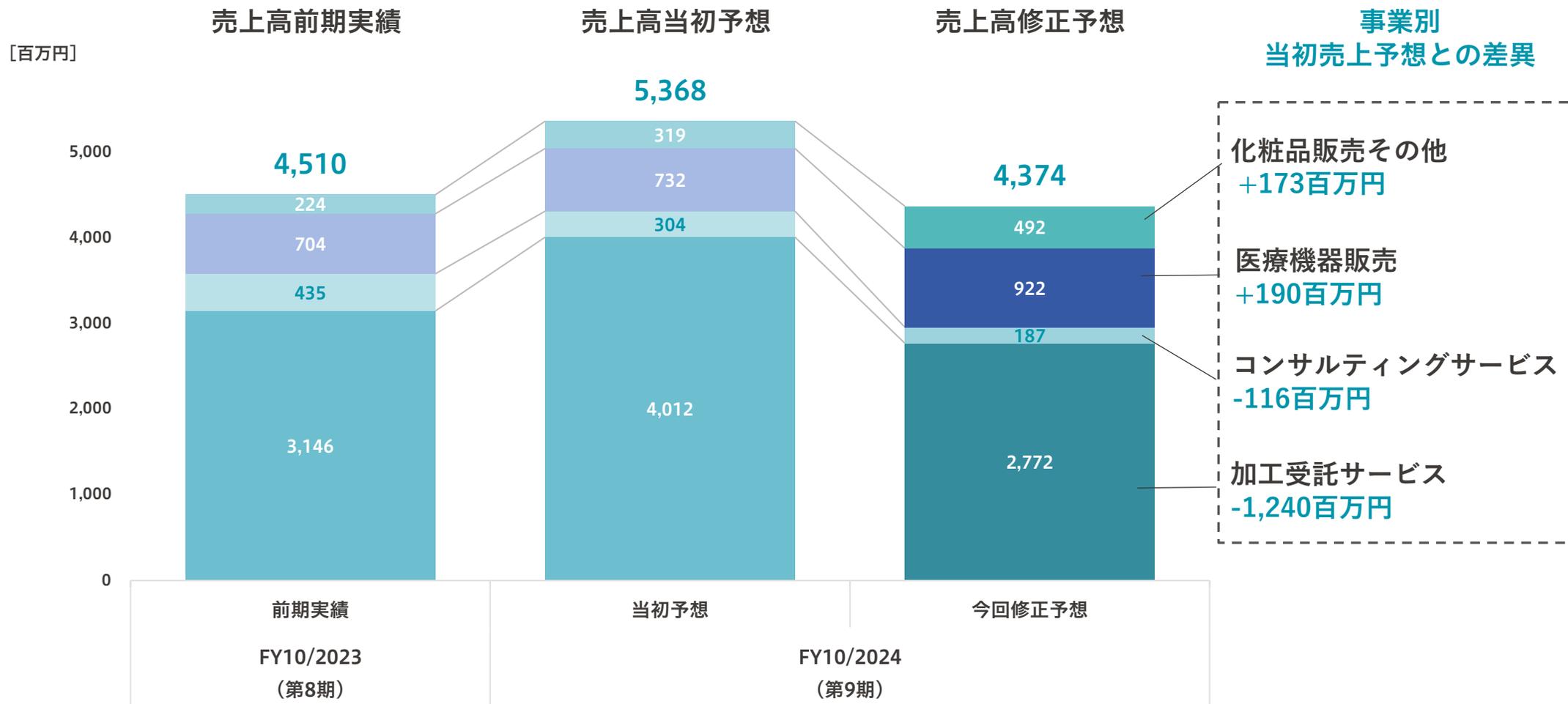
- 1 2024年10月期 業績予想下方修正について
- 2 2024年10月期 第3四半期業績
- 3 整形外科領域における加工受託サービス事業戦略の進捗
- 4 各種KPI
- 5 その他アップデート

2024年10月期 業績予想 下方修正について

Q3までの進捗と足元の見通しを踏まえ、通期業績予想を下方修正
 下方修正の要因分析と今後の見通しについてはp.6に記載

[百万円]	FY10/2024			
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,368	1,003	1,037	719
今回修正予想 (B)	4,374	420	527	417
増減額 (B - A)	-993	-583	-509	-301
増減率 (%)	-18.5%	-58.1%	-49.2%	-41.9%
参考：前期実績 (2023年10月期)	4,510	1,221	1,194	923

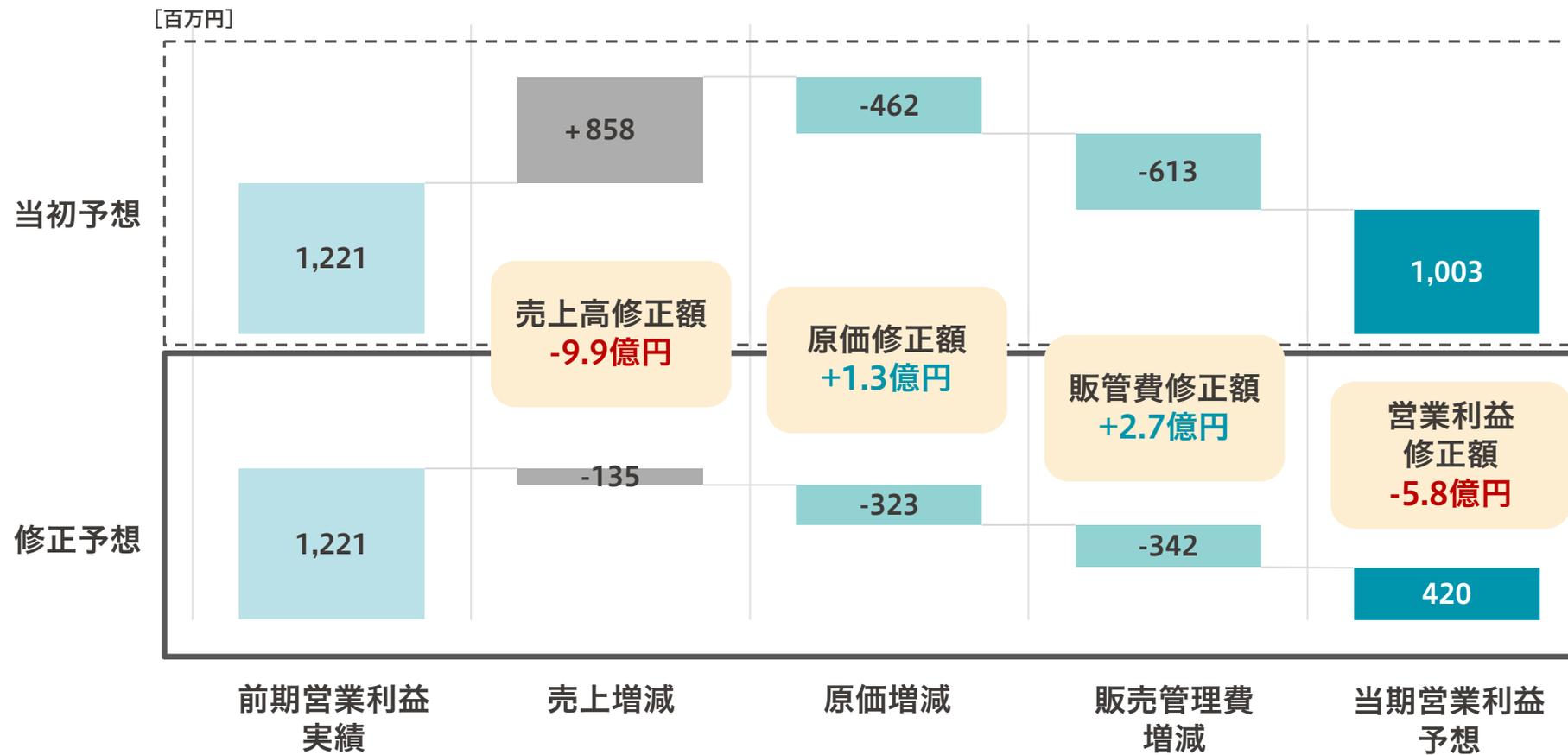
加工受託サービスの減収を主要因に、売上高予想を9.9億円下方修正



業績予想下方修正の主な要因は、自費診療特化型整形外科からの受託予測のずれによる

事業	売上高修正額	サービス	要因
加工受託	-1,240百万円	自費診療特化型整形外科	当初予想は前期平均値を前提としたが、大幅未達。下半期は技術アップデート（脂肪）により、ASCを中心に復調中
		ハイブリッド型整形外科	戦略・戦術転換の遅れにより、既存顧客からのオーダー伸び悩みが発生。現在は新戦術及び継続した技術アップデート（血液）により、上昇基調
		滑膜由来幹細胞	本サービスの社会実装難易度の見誤りにより、大幅未達。既存提携医療機関と共に丁寧なサービス展開・拡充を実施中
その他	+246百万円	コンサルティングサービス	自費診療特化型整形外科に関連する売上との相関が高く、連動して悪化・未達
		医療機器販売	美容領域の医療機関での脂肪注入関連サービスの市場ニーズが拡大し、予算を上回る着地
		化粧品販売その他	上半期に受注した化粧品原料提供が貢献し、予算を上回る着地

製造拠点移転に関連した固定性の原価および販売管理費は当初予想の通り支出。
 売上高の未達幅が大きく、営業利益は5.8億円の下方修正



1. 自費診療特化型整形外科との連携強化

- 引き続き、協業強化に向けて連携を強める
- 各種技術アップデート（血液・脂肪）の展開により、サービスの競争力を強化

2. ハイブリッド型整形外科向け営業施策の徹底的推進

- 整形外科領域における加工受託サービス事業の強化に向け、前Qに示した営業施策を徹底的に推進
- 各種技術アップデート（血液・脂肪）と営業施策の掛け算により、本領域での事業拡大を企図
- これまで不十分だった、不要なコストの徹底削減も実施

3. 事業の選択と集中を進め、中長期ビジョンを公表

- 事業の選択と集中を進め、経営資源を最も成長が見込まれる分野に集中。この戦略に基づき、中長期のビジョンを12月に公表予定
- 整形外科領域での面展開を構想、M&Aも活用した持続的な成長と収益性の向上を狙う

4. 成長を実現できる組織へ

- 現行の組織を見直し、事業成長を促進する体制へ最適化
- 成果に基づくインセンティブ制度を強化し、社員のモチベーションアップ
- 成長戦略に必要な人材を獲得し、競争力を強化

2024年10月期 第3四半期業績

売上高

33.4億円
(前年同期比-1.9%)

営業利益

3.8億円
(前年同期比-62.8%)

四半期純利益

3.7億円
(前年同期比-44.6%)

売上高営業利益率

11.6%
(前年同期比-19.0pt)

血液由来

加工受託件数(当期累計)

16,348件
(前年同期比-13.6%)

脂肪由来幹細胞

加工受託件数(当期累計)

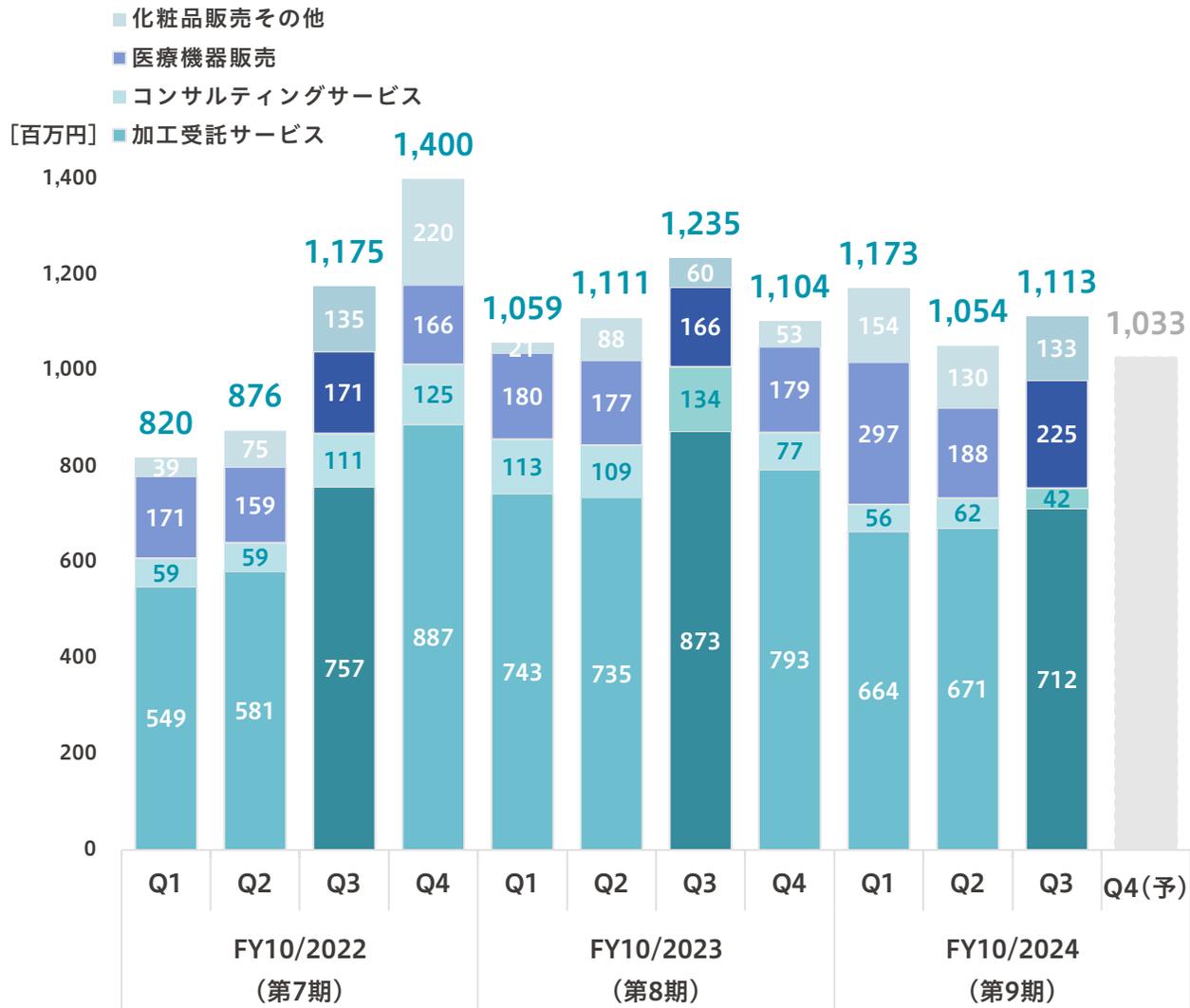
1,178件
(前年同期比-28.7%)

[百万円]	FY10/2024 Q2	FY10/2024 Q3	前Q比	FY10/2023 Q3累計	FY10/2024 Q3累計	前年同期比
売上高	1,054	1,113	+5.6%	3,406	3,341	-1.9%
売上総利益	661	694	+5.1%	2,431	2,119	-12.8%
売上総利益率	62.7%	62.4%	-0.3pt	71.4%	63.4%	-7.9pt
営業利益	75	106	+41.0%	1,043	388	-62.8%
営業利益率	7.2%	9.6%	+2.4pt	30.6%	11.6%	-19.0pt
経常利益	179	107	-40.2%	1,039	495	-52.3%
四半期純利益	156	74	-52.4%	675	374	-44.6%

血液由来加工受託件数 (件)	5,202	5,832	+12.1%	18,932	16,348	-13.6%
脂肪由来幹細胞加工受託 件数 (件)	368	439	+19.3%	1,652	1,178	-28.7%

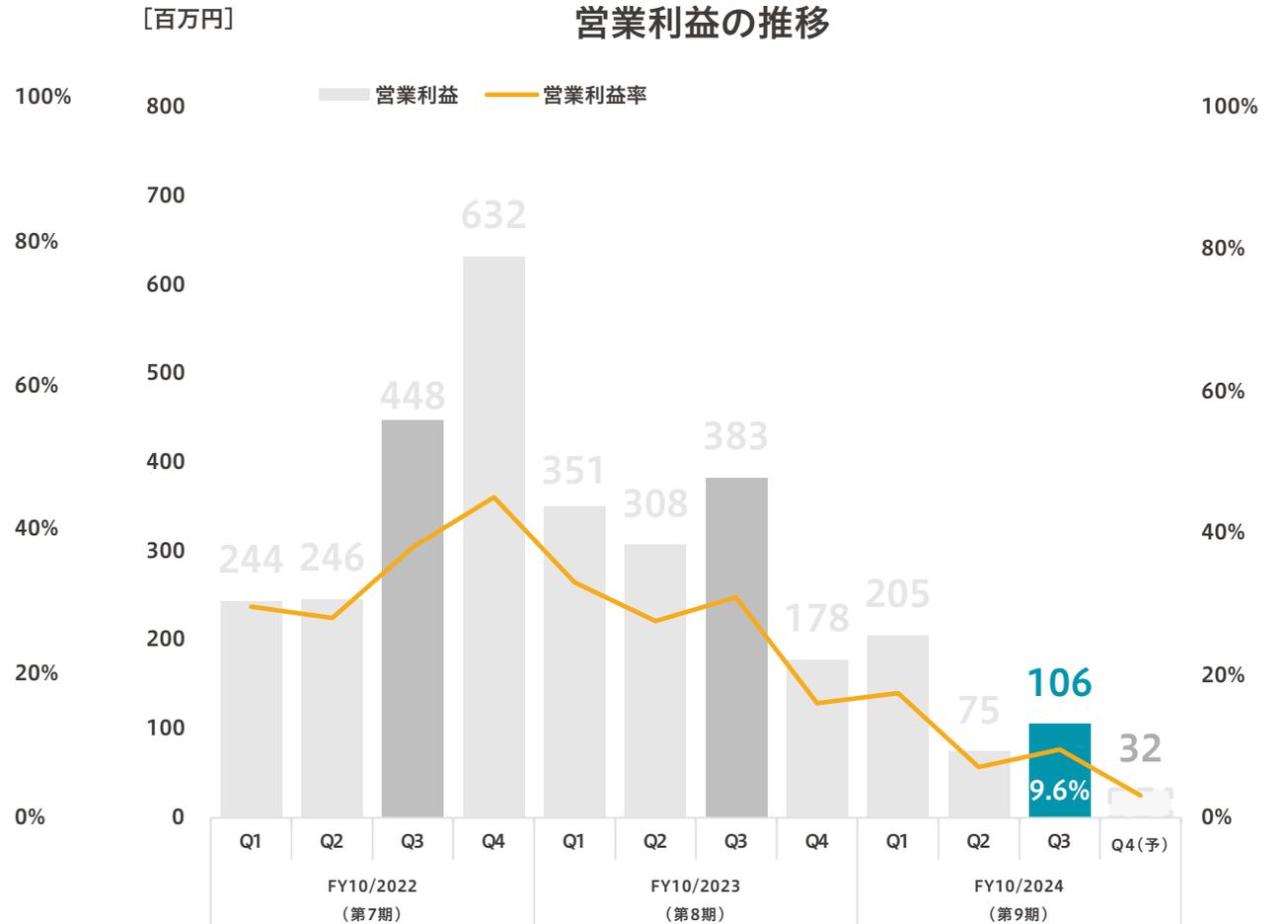
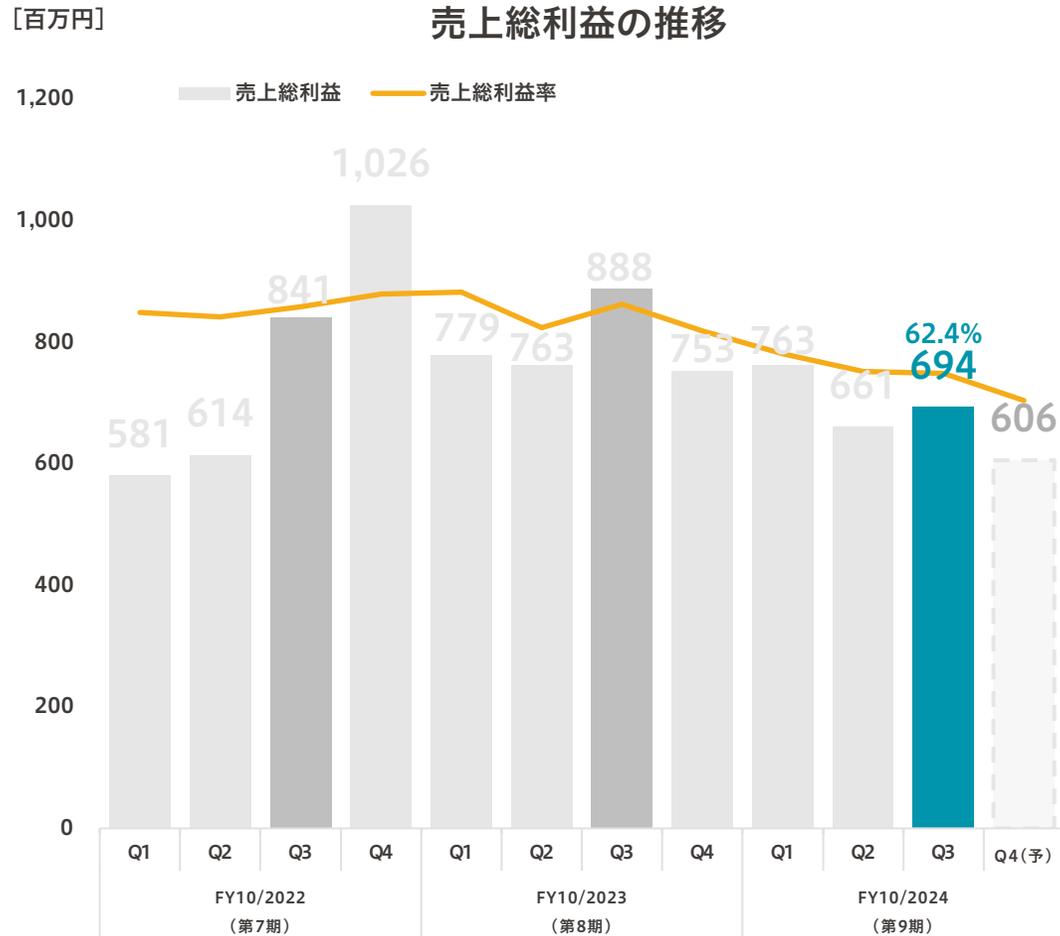
- **売上高**：加工受託サービス、医療機器販売、化粧品販売は前Q比で増加した一方、コンサルティングサービスが減収。全体では前Q比5.6%の増収
- **売上総利益率**：コンサルティングサービスの減収と化粧品販売の出荷製品構成変動により、前Q比微減
- **営業利益率**：販売管理費は前Q比ほぼ横ばいに抑制。売上高の伸長により営業利益率は前Q比2.4pt改善
- **四半期純利益**：前Qの投資有価証券売却益と補助金収入の計上による反動減。前Q比52.4%の減益
- **加工受託件数**：PFC-FD™ (2.0)リリース及びASCの技術アップデートが奏功し、前Q比増加

加工受託サービスの復調により、全体の売上高は前Q比増収



	前期Q3累計	当期Q3累計	前年同期比
合計	3,406	3,341	-1.9%
加工受託サービス	2,352	2,048	-12.9%
コンサルティングサービス	357	161	-54.8%
医療機器販売	524	711	+35.6%
化粧品販売その他	171	419	+145.0%

Q3：売上増、売上総利益率維持(p.14)により、売上総利益及び営業利益ともに増加。
 Q4：p.15にて説明

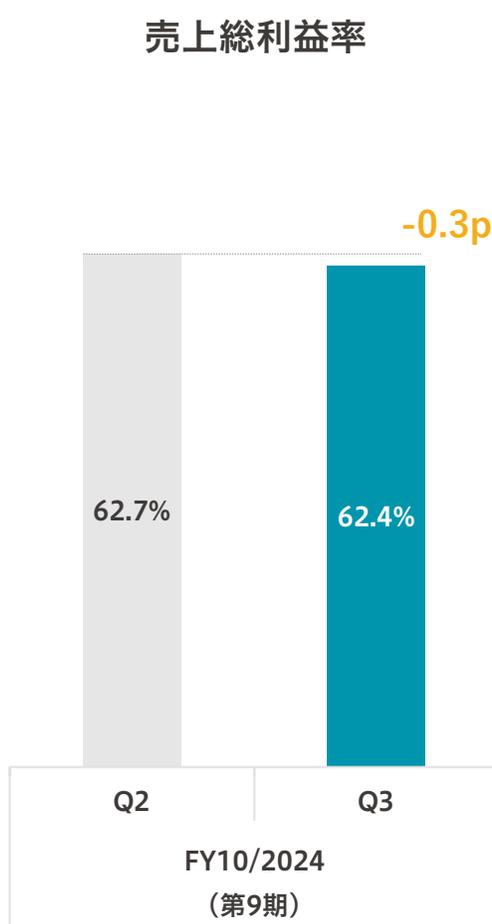


加工受託サービスの粗利率が改善も、その他要素の各種微減により全体の粗利率は低下。
Q4からは新拠点での製造開始に伴う費用の原価計上に伴い、若干の悪化が見込まれる

概要

今後の見通し

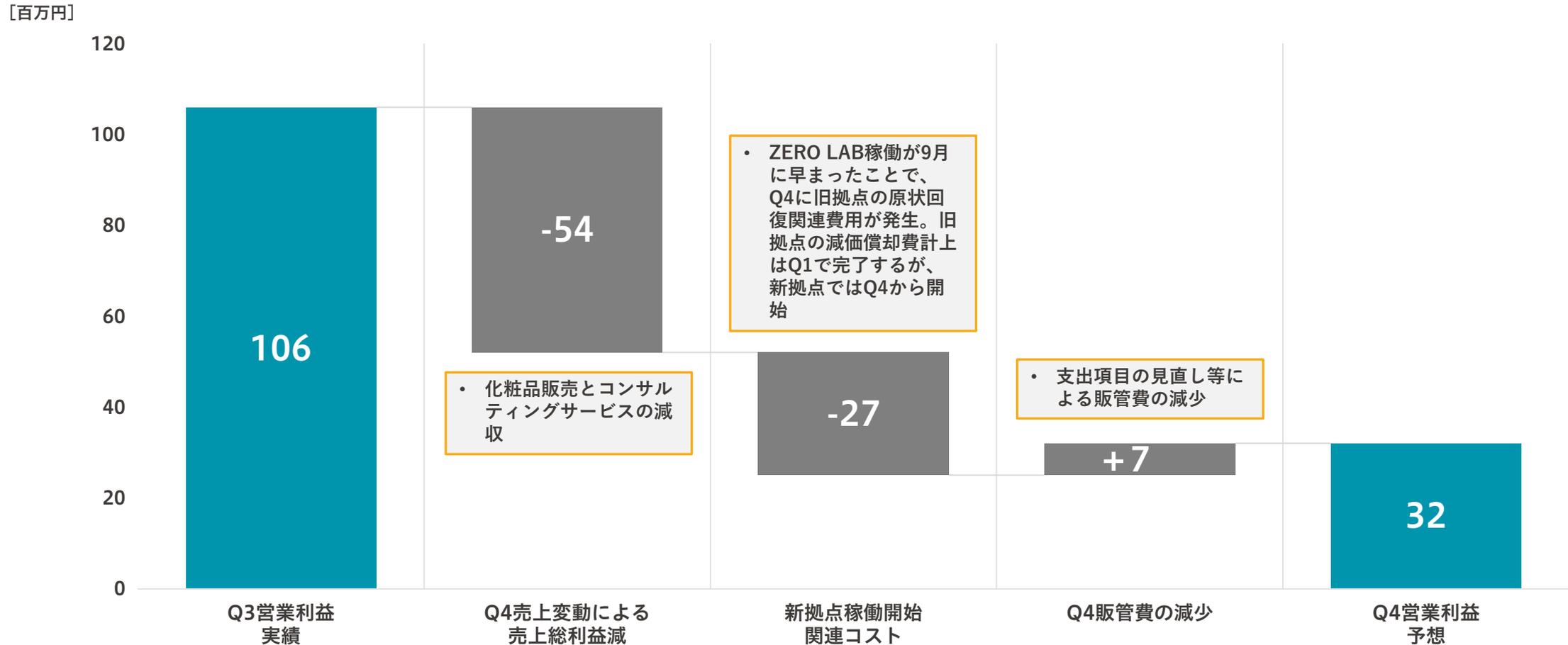
売上総利益率



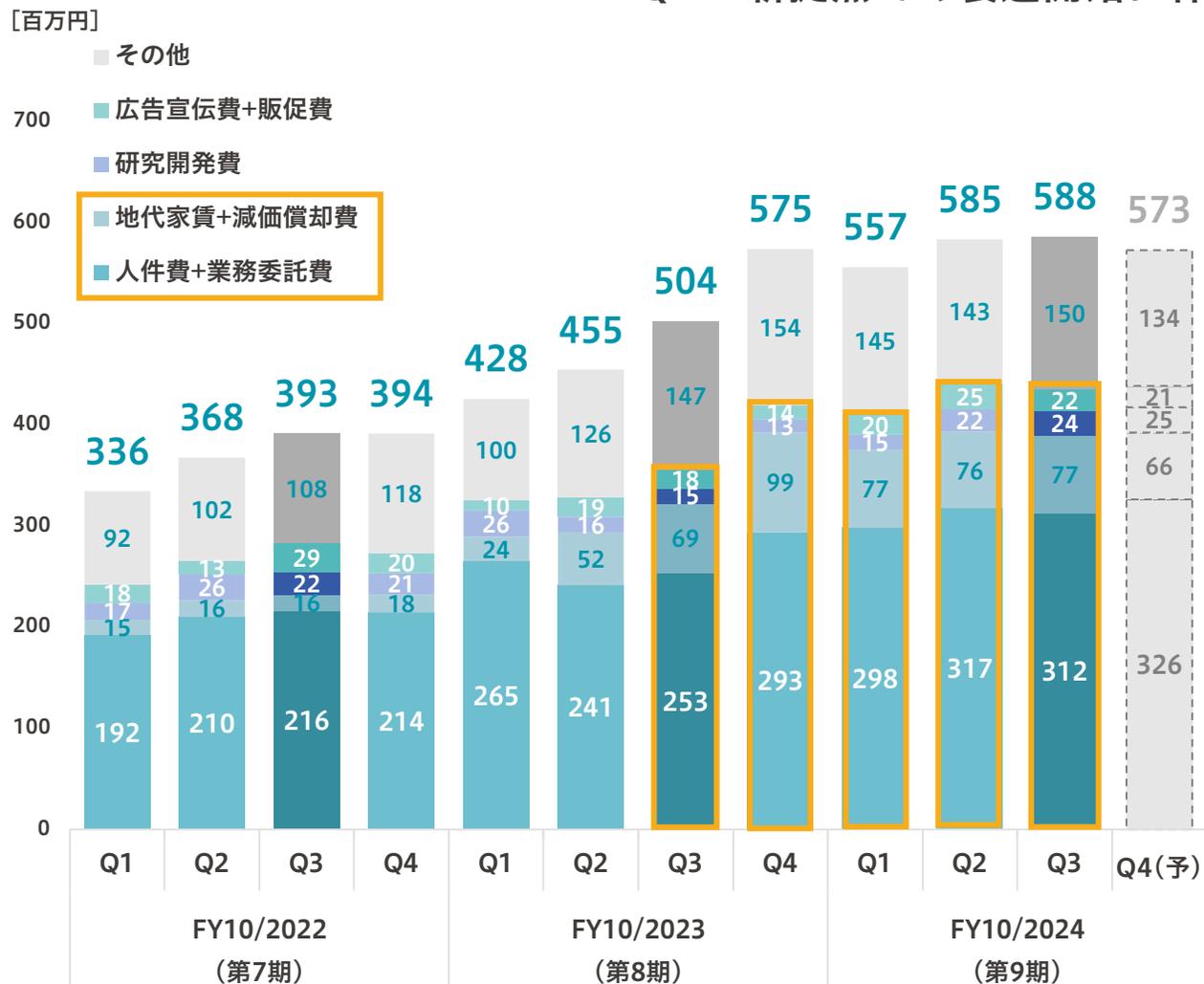
-0.3pt

売上総利益率		概要	今後の見通し
セールスマックスの変動 -0.3pt		<ul style="list-style-type: none"> セールスマックスに大きな変動はなし 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな変化はない見込み
事業単体の粗利変動 -0.1pt	加工受託サービス +1.1pt	<ul style="list-style-type: none"> 加工受託件数の増加による売上高増加により粗利率は改善 	<ul style="list-style-type: none"> Q4以降ZERO LABの稼働開始により製造関連コストが販売管理費から原価に移行するため、原価が増加する見込み
	コンサルティング -0.3pt	<ul style="list-style-type: none"> 自費診療特化型整形外科に関連する売上が減少し、粗利率低下 	<ul style="list-style-type: none"> 自費診療特化型整形外科に関連する売上は縮小する前提
	医療機器販売 -0.5pt	<ul style="list-style-type: none"> 出荷製品構成による要因で利益率が低下 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな変化はない見込み
	化粧品販売その他 -0.4pt	<ul style="list-style-type: none"> 出荷製品構成による要因で利益率が低下 	<ul style="list-style-type: none"> 各製品のデリバリータイミングによる変動は継続

Q4は化粧品販売とコンサルティングサービスの減収、
新拠点の早期稼働に伴う設備関連コスト二重計上に伴い、営業利益は大幅減少の見込み

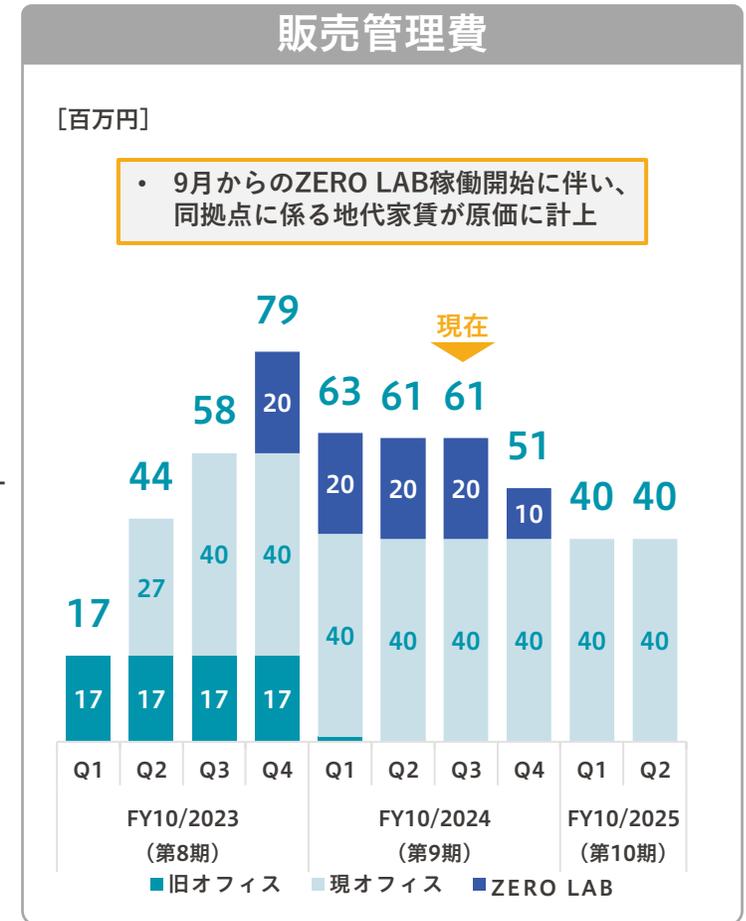
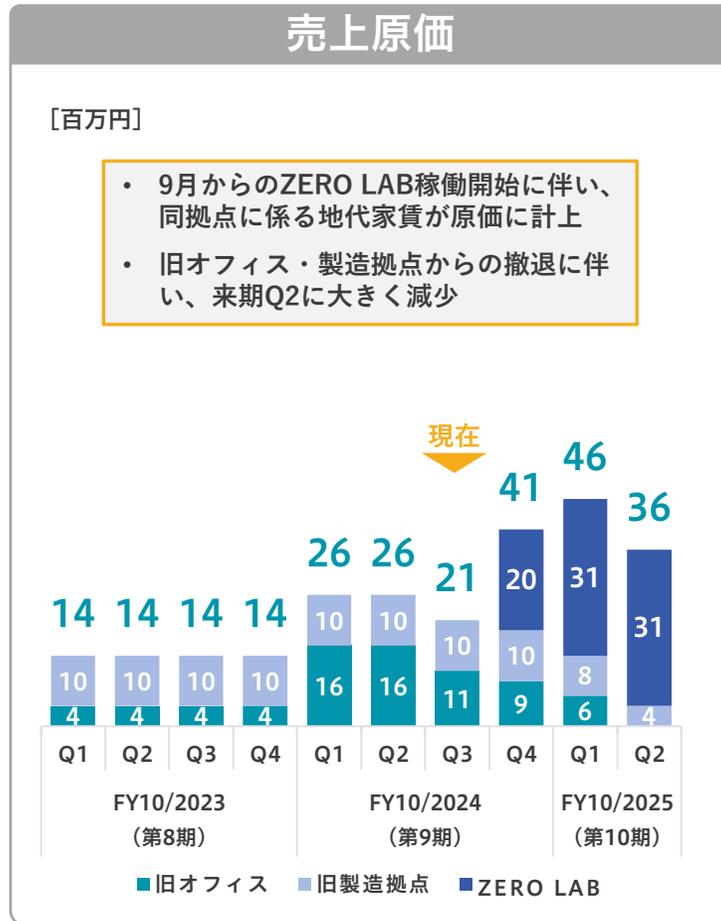
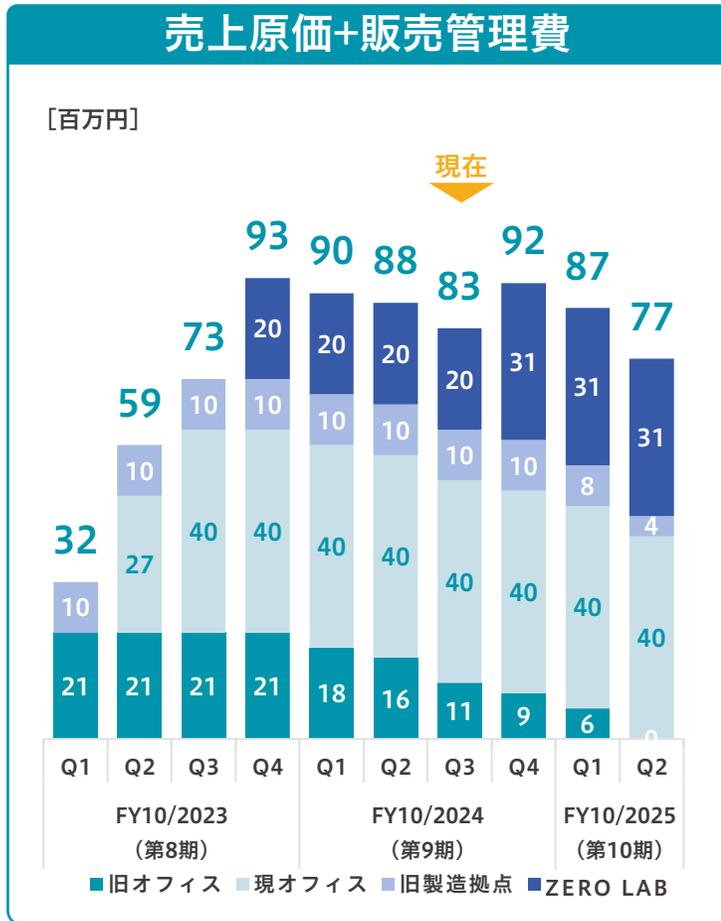


Q3：コストコントロールを継続し、前Q比ほぼ増減なし
 Q4：新拠点での製造開始に伴い、地代家賃が減少

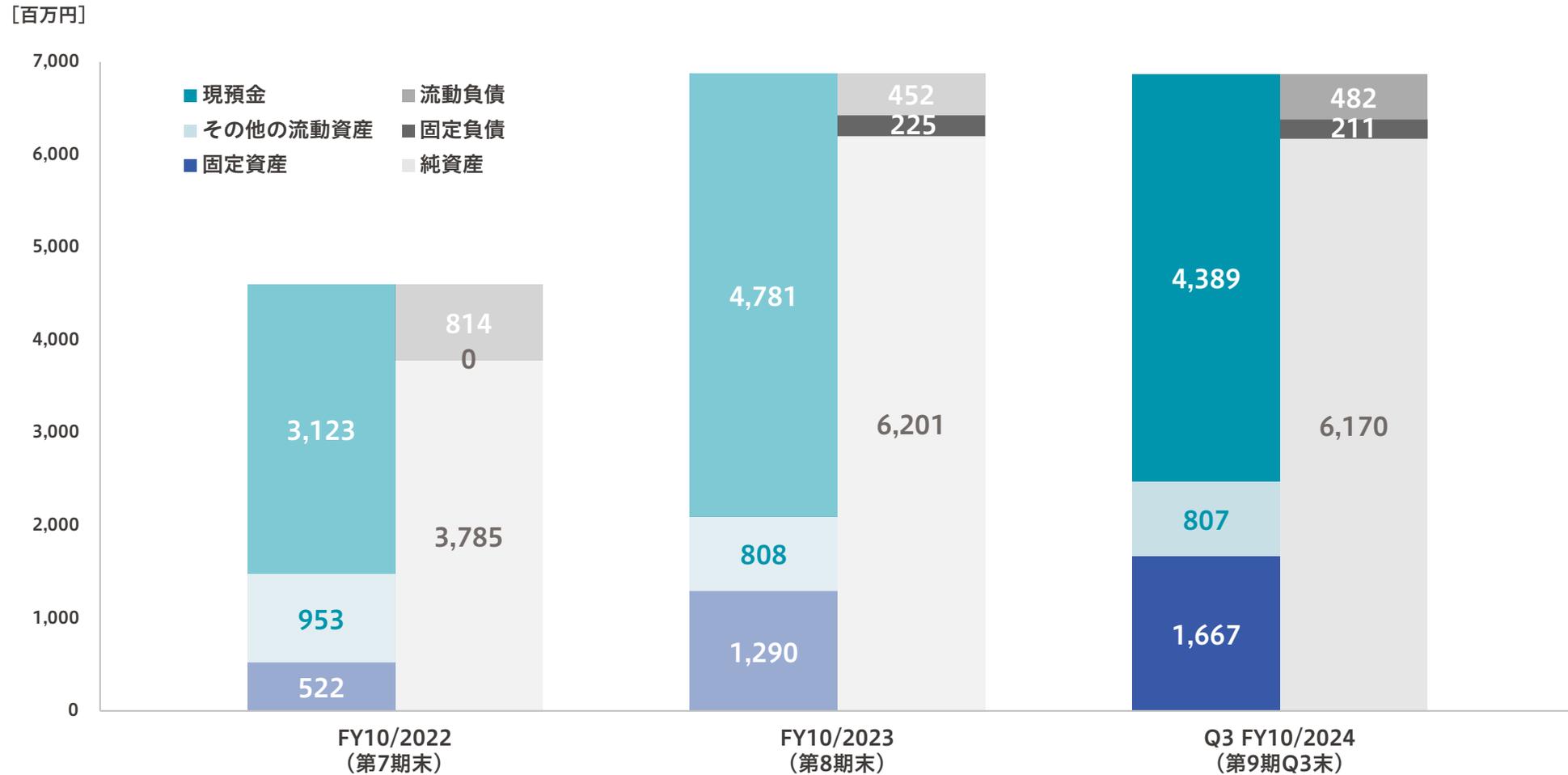


	前期Q3累計	当期Q3累計	前年同期比
合計	1,388	1,731	+24.8%
人件費+業務委託費	759	929	+22.3%
地代家賃+減価償却費	146	231	+58.3%
研究開発費	58	62	+5.3%
広告宣伝費+販促費	49	68	+39.1%
その他	373	439	+17.7%

想定より早期のZERO LAB稼働開始に伴い、費用計上科目の移動が発生も、総額は想定通りに推移。
旧オフィス・製造拠点からの撤退が進み、来期以降順次縮小予定



新拠点関連で固定資産が増加。強固な財務基盤を引き続き堅持。
キャッシュアロケーションの方針は中長期ビジョンの中で検討



整形外科領域における 加工受託サービス事業戦略の進捗

前Q開示の整形外科領域の加工受託サービス事業戦略の実行は順調に進捗中。
 通期決算公表時には一定の成果を示す目標

FY10/2024

FY10/2025

Q2

Q3

Q4

Q1

Q2

● 9月 Q3決算発表 (現在) ● 12月 通期決算発表

PFC-FD™ (2.0)
立ち上がり

ローンチ・
受託件数積上げ

売上貢献

ASC新技術
立ち上がり

ローンチ・
受託件数積上げ

売上貢献

加工受託事業戦略

営業
新体制

施策
仕込み

(各施策が順次) 売上貢献

PFC-FD™(2.0)

- ・ 4月のローンチ後、順調に市場導入を達成。8月末時点での累計受注数は6,192件に到達
- ・ 価格の複線化により、新たな患者層の取り込みにも成功

ASC新技術

- ・ 自費診療特化型整形外科*¹には全院導入完了し、オーダー増に貢献。ハイブリッド型整形外科には、予定通り11月以降順次展開開始
- ・ 本日発表の加工工程アップデート (p.24) を梃子に、更なる拡大を企図

加工受託事業 戦略

- ・ 6月の営業方針転換後、各種施策の仕込みを開始。9月より順次実施
- ・ 営業体制も拡充し、新営業戦術を強力的に推進

*1: 自費診療特化型の整形外科のうち、主力のクリニックグループを指す

連休の影響がありながらも、自費診療特化型はオーダー数維持、
ハイブリッド型はオーダー数大幅増を実現

	自費診療特化*1		ハイブリッド*2		全体	
	Q2	Q3	Q2	Q3	Q2	Q3
提携医療機関数 (院)	16	14	1,304	1,352	1,320	1,366
×						
アクティブ率*3 (Q)	100.0%	100.0%	37.5%	39.4% ¹	38.3%	40.0%
×						
アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件/Q)	183.3	214.4	3.9	4.5 ²	9.6	9.9
オーダー数 (件/Q)	2,932	3,001	1,931	2,392	4,863	5,393

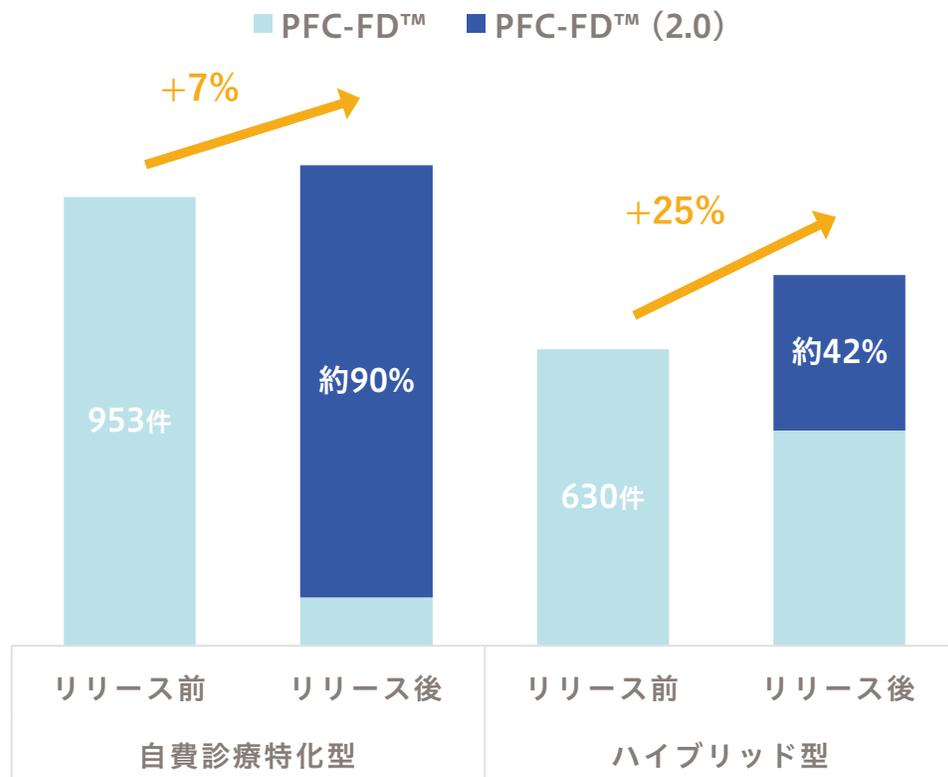
1 新価格ライン導入が、非アクティブ医療機関の掘り起こしに貢献

2 PFC-FD™(2.0)のローンチと価格複雑化により、一院当たりのオーダーが増加

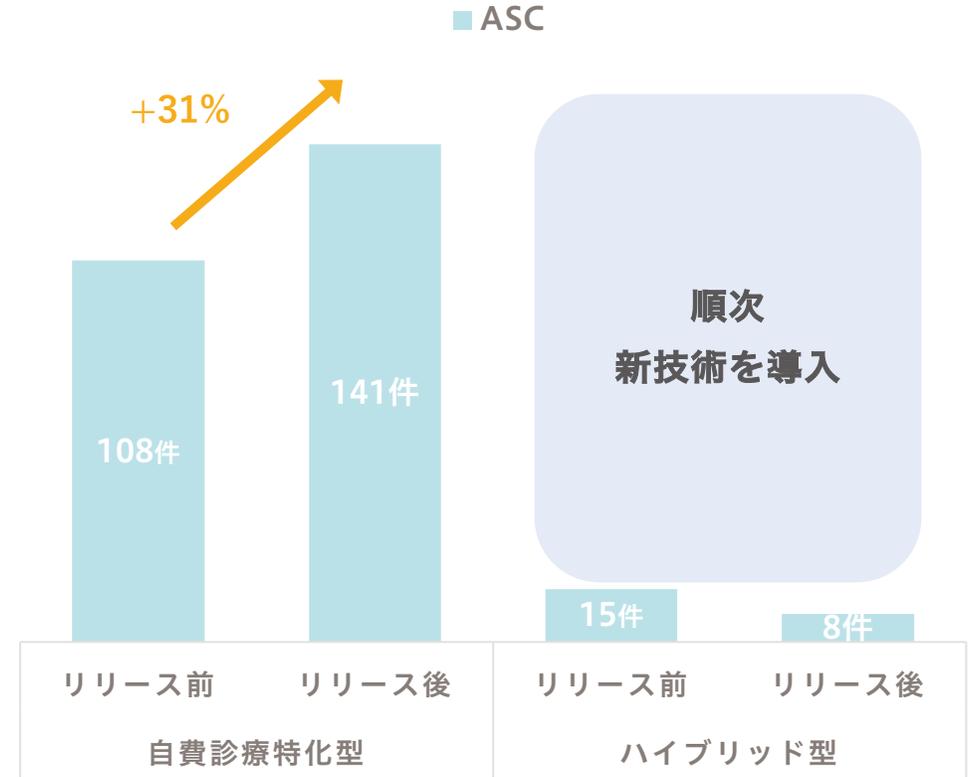
*1: 自費診療特化型の整形外科のうち、主力のクリニックグループを指す。自費診療特化型医療機関の閉院件数を控除
 *2: 整形外科のうち、*1の自費診療特化型クリニックグループを除く医療機関
 *3: 明記した四半期の間に、1件以上オーダーのあった医療機関の比率

PFC-FD™ (2.0)：当初の狙い通り、価格の複線化によりハイブリッド型のオーダー数増を実現
 ASC：自費診療特化型にてオーダー数増に貢献。今後、ハイブリッド型でのASCの増加を見込む

PFC-FD月間オーダー数比較*1



ASCの月間オーダー数比較*1

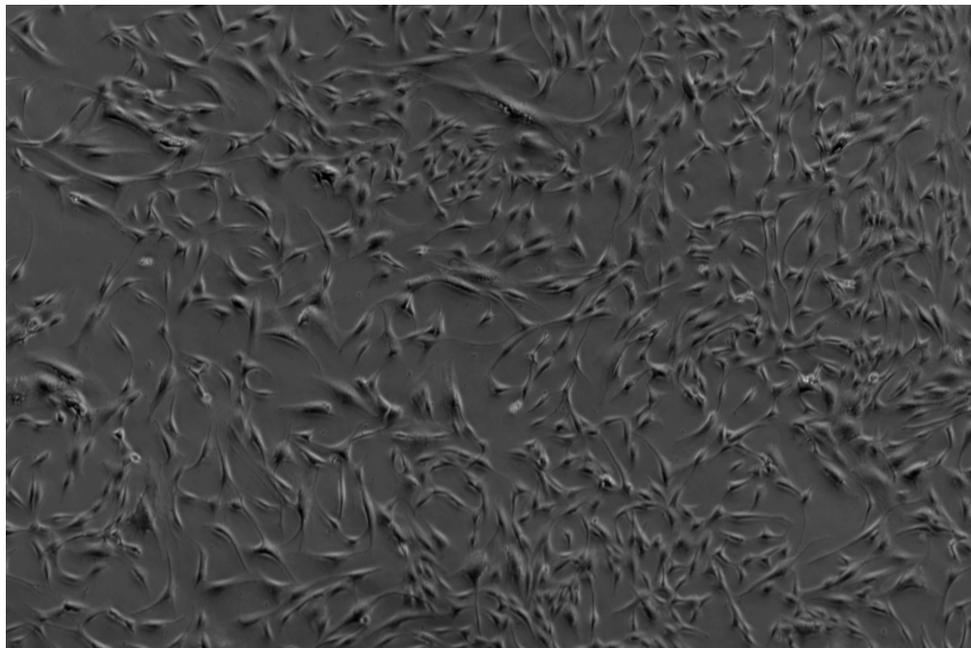


抽出技術をアップデートし、脂肪由来幹細胞を利用したサービスのさらなる拡大に

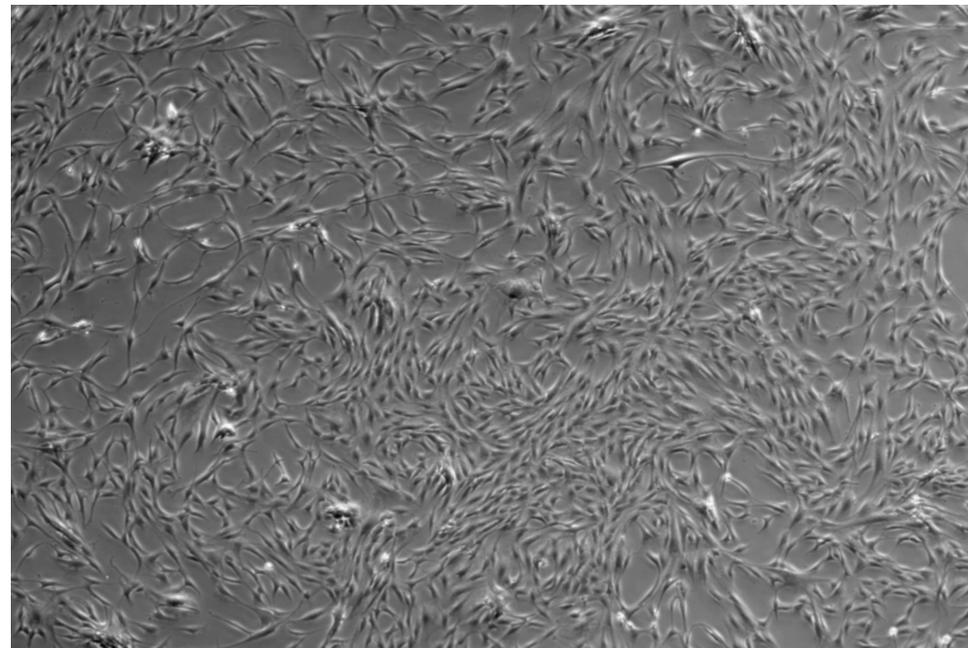
概要

- 一般的な老化細胞の表現型のひとつとして知られる「細胞の肥大化」
- 当該表現型を示す細胞を除去する抽出工程にアップデート

捕捉された細胞群



通過した細胞群



各種KPI

期末提携

医療機関数

1,923院
(前年同期比+269院)

血液由来

加工受託件数(当期累計)

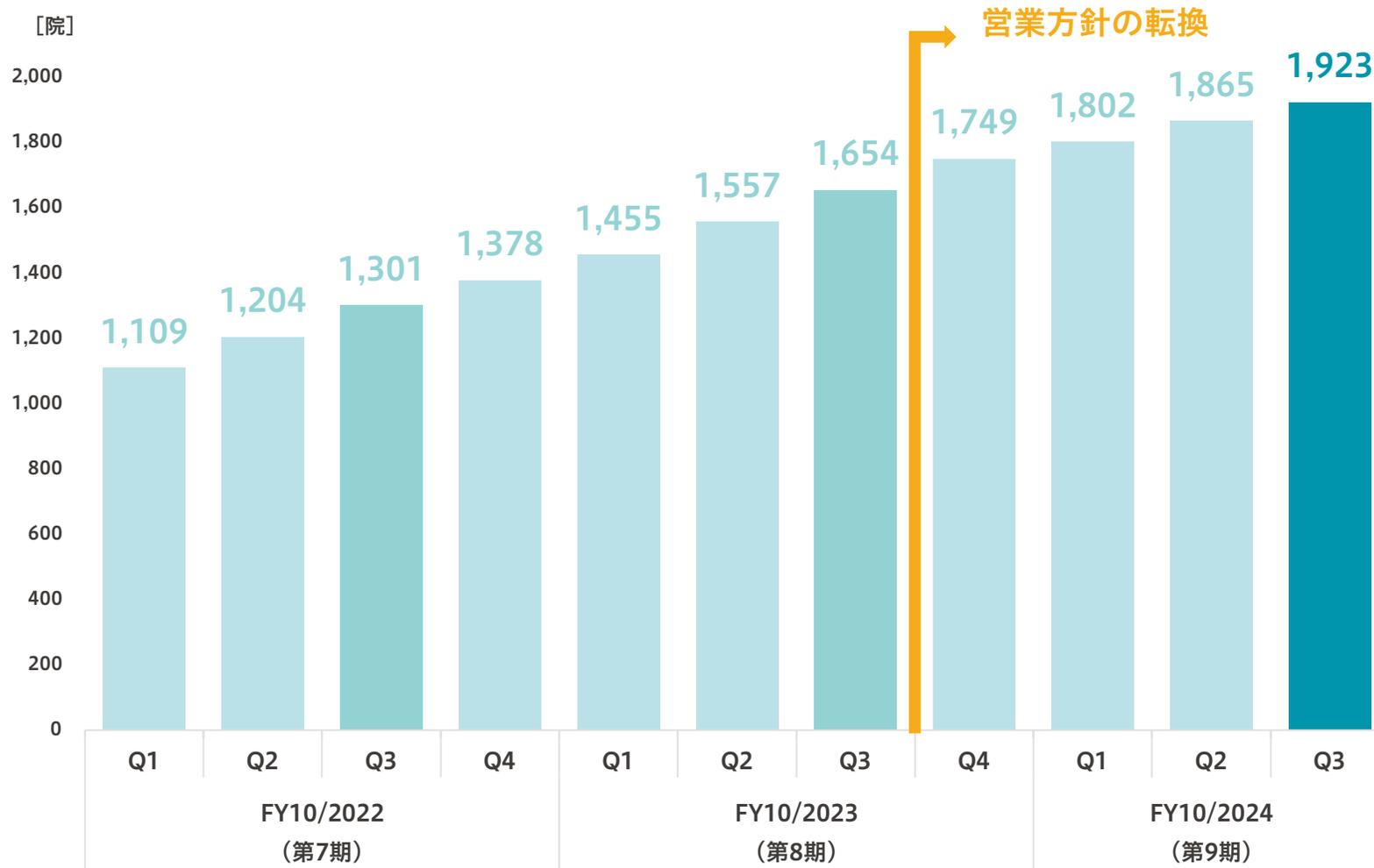
16,348件
(前年同期比-13.6%)

脂肪由来幹細胞

加工受託件数(当期累計)

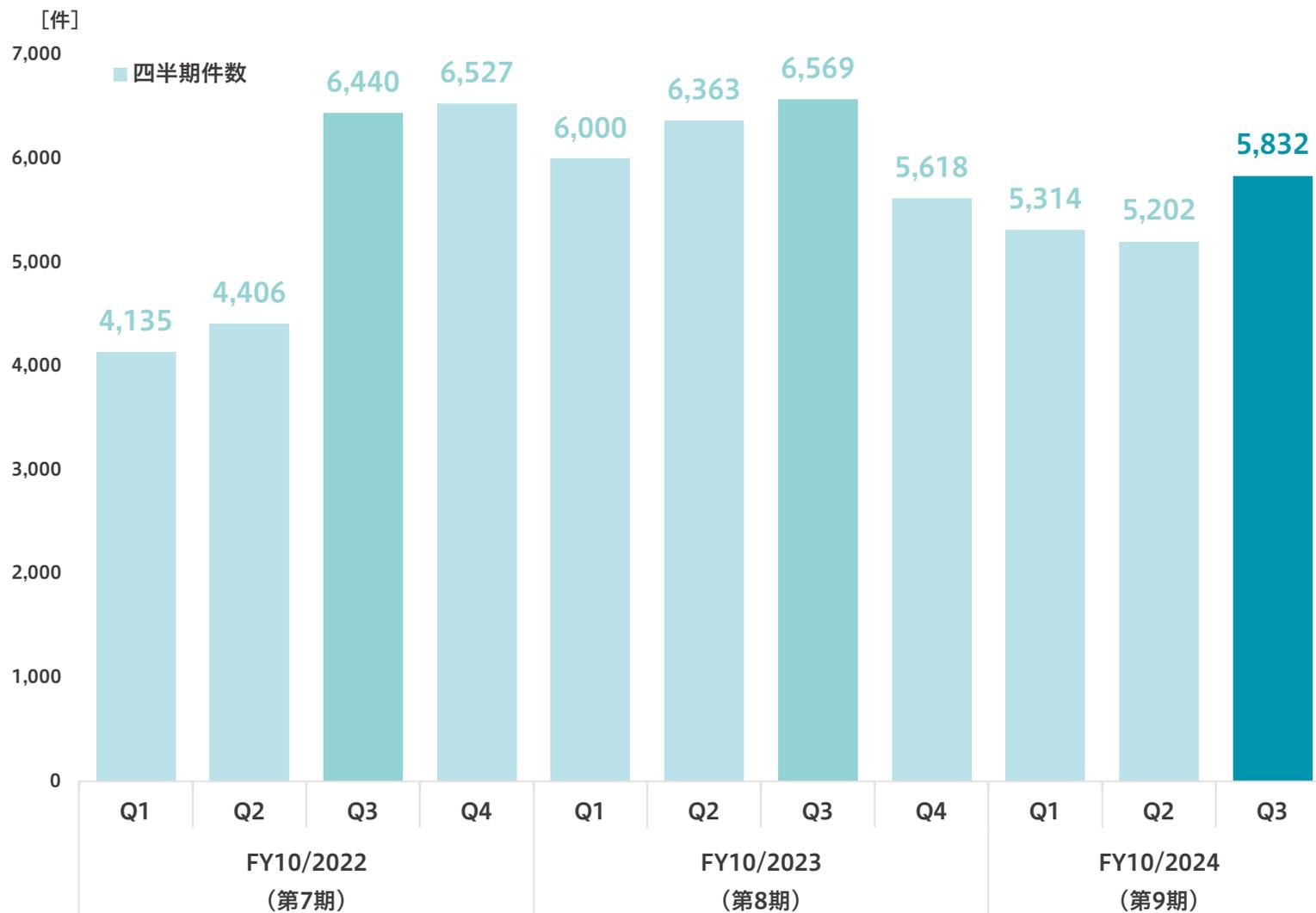
1,178件
(前年同期比-28.7%)

新規契約に関する営業リソース削減後も、提携医療機関数は継続的に増加



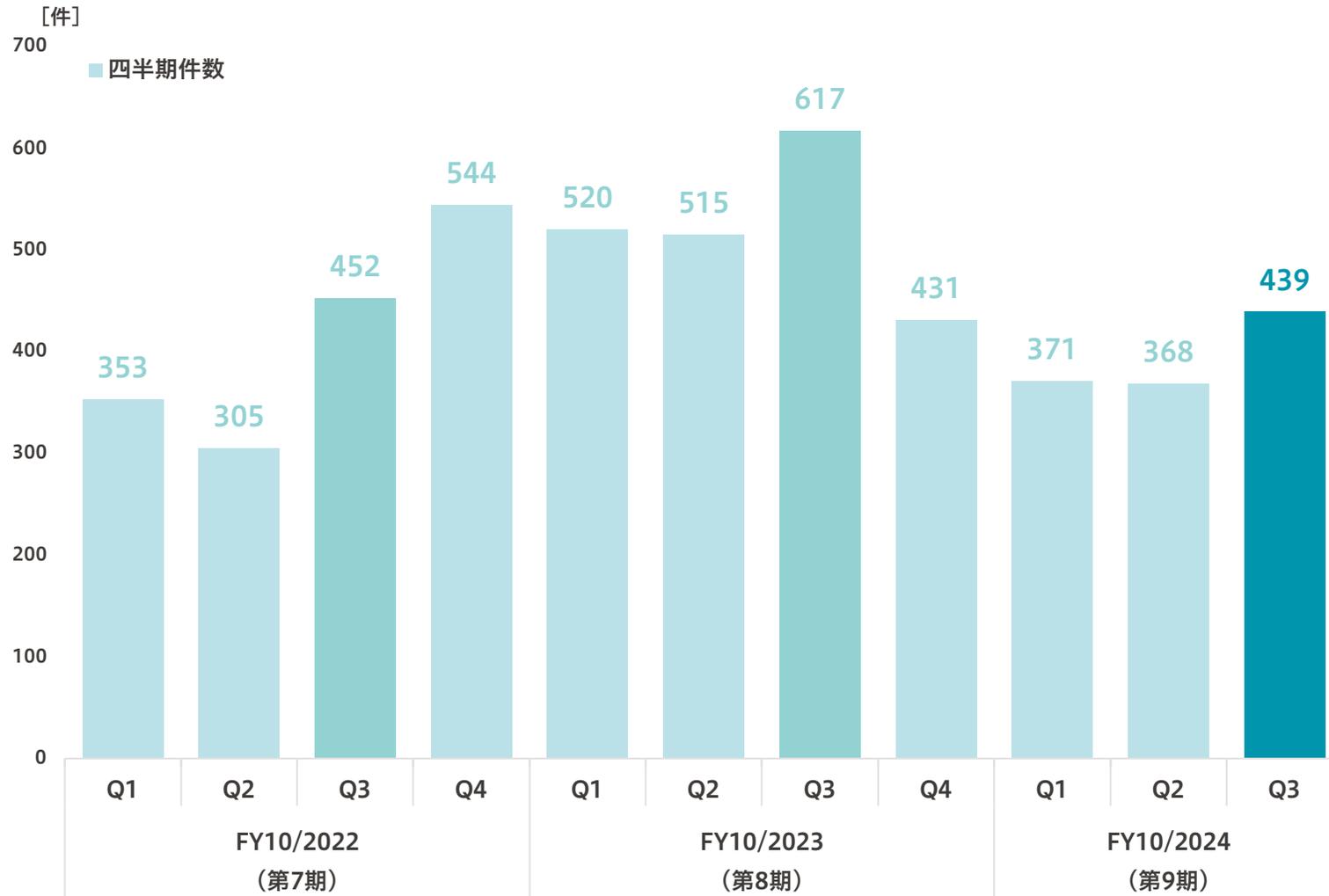
当四半期末 **1,923** 院
 (前年同期比 +269 院)

*1: 自費診療特化型医療機関の閉院件数を控除



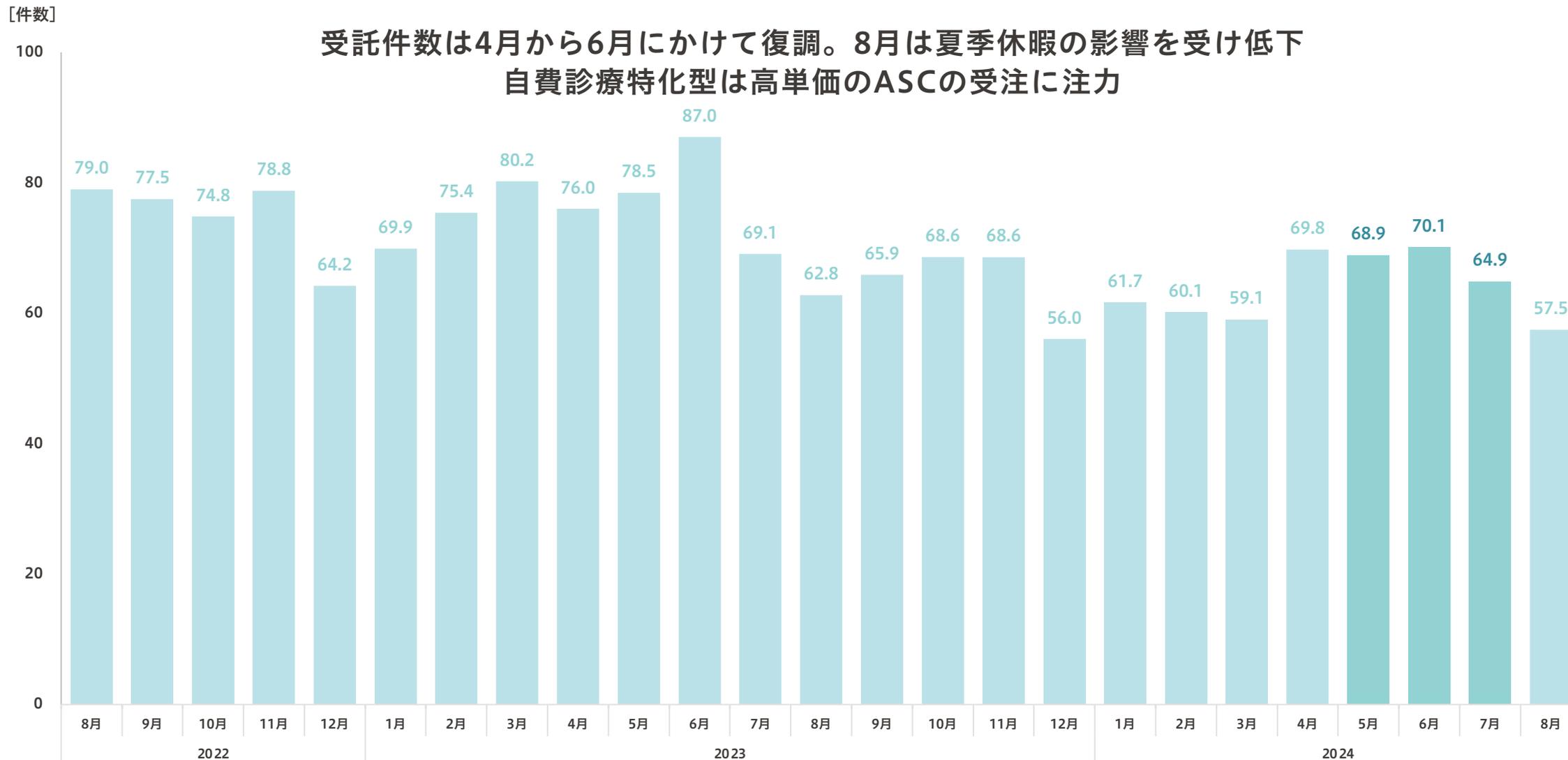
当四半期計 **5,832**件
(前年同期比 -11.2%)

累計 **90,018**件



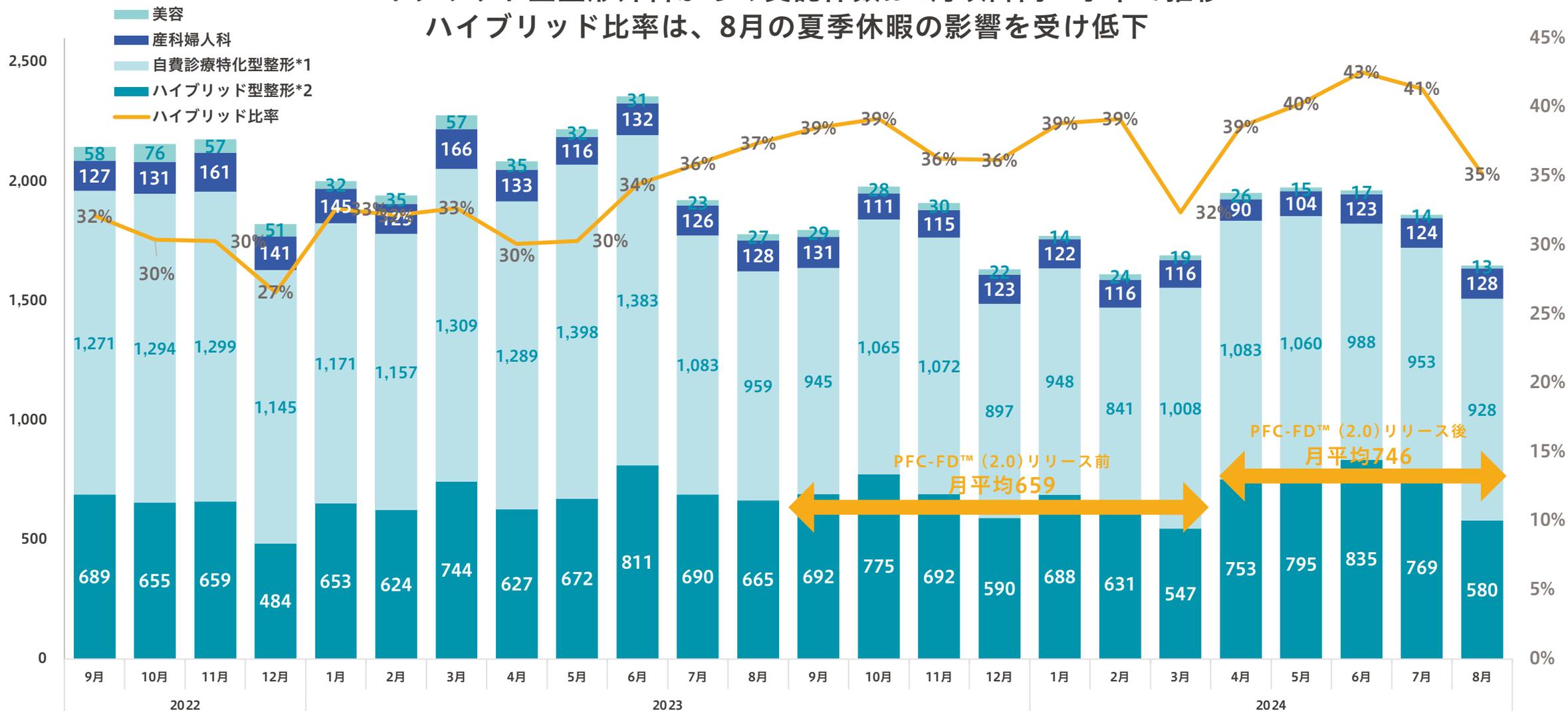
当四半期計 **439** 件
(前年同期比 -28.8%)

累計 **8,798** 件



[件数]

ハイブリッド型整形外科からの受託件数は4月以降高い水準で推移
 ハイブリッド比率は、8月の夏季休暇の影響を受け低下



*1: 自費診療特化型の整形医療機関のうち、主力の医療法人グループを指す
 *2: 整形医療機関のうち、*1の自費診療特化型医療法人グループを除く医療機関

		FY10/2023		FY10/2024			Q4FY2022- Q3FY2023	Q4FY2023- Q3FY2024
		Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	直近12ヵ月間	直近12ヵ月間
自費診療特化型 ^{*1}	期末提携医療機関 (院)	14	16	16	16	14	14	14
	アクティブ率 ^{*3}	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	276.0	185.6	182.3	183.3	214.4	1,084.4	844.2
	オーダー数 (件)	3,864	2,969	2,917	2,932	3,001	15,182	11,819
ハイブリッド型 ^{*2}	期末提携医療機関 (院)	1,123	1,200	1,259	1,304	1,352	1,123	1,352
	アクティブ率 ^{*3}	43.9%	41.8%	38.4%	37.5%	39.4%	59.9%	57.0%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	4.4	4.2	4.1	3.9	4.5	11.8	10.9
	オーダー数 (件)	2,173	2,132	1,970	1,931	2,392	7,931	8,425
全体	期末提携医療機関 (院)	1,137	1,216	1,275	1,320	1,366	1,137	1,366
	アクティブ率 ^{*3}	44.6%	42.6%	39.1%	38.3%	40.0%	60.4%	57.5%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	11.9	9.8	9.8	9.6	9.9	33.6	25.8
	オーダー数 (件)	6,037	5,101	4,887	4,863	5,393	23,113	20,244

*1: 自費診療特化型の整形外科のうち、主力のクリニックグループを指す
 *2: 整形外科のうち、*1の自費診療特化型クリニックグループを除く医療機関
 *3: 明記した四半期末の間に、1件以上オーダーのあった医療機関の比率

(百万円)	FY10/2022				FY10/2023				FY10/2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	820	876	1,175	1,400	1,059	1,111	1,235	1,104	1,173	1,054	1,113
(加工受託サービス)	549	581	757	887	743	735	873	793	664	671	712
(コンサルティングサービス)	59	59	111	125	113	109	134	77	56	62	42
(医療機器販売)	171	159	171	166	180	177	166	179	297	188	225
(化粧品販売その他)	39	75	135	220	21	88	60	53	154	130	133
販売管理費	336	368	393	394	428	455	504	575	557	585	588
営業利益	244	246	448	632	351	308	383	178	205	75	106
四半期純利益	155	152	280	428	216	194	265	248	143	156	74
総資産	3,202	3,545	3,825	4,599	4,416	4,812	5,017	6,879	6,807	6,876	6,864
純資産	2,884	3,048	3,348	3,785	4,005	4,201	4,487	6,201	5,960	6,096	6,170
EBITDA	257	261	464	649	366	323	403	208	234	110	145
FTE ^{*1}	130	142	145	153	160	176	191	198	208	211	207
一人当たりEBITDA (千円) *2	1,974	1,844	3,193	4,250	2,297	1,836	2,112	1,050	1,129	522	702
加工受託件数 ^{*3} (件)	4,488	4,711	6,892	7,071	6,520	6,878	7,186	6,049	5,685	5,570	6,271
脂肪由来幹細胞加工受託件 (件)	353	305	452	544	520	515	617	431	371	368	439
血液由来加工受託件数 (件)	4,135	4,406	6,440	6,527	6,000	6,363	6,569	5,618	5,314	5,202	5,832
期末提携医療機関 (院)	1,109	1,204	1,301	1,378	1,455	1,557	1,654	1,749	1,802	1,865	1,923

*1: FTE (フルタイム当量) = 社員の総労働時間 ÷ (勤務日数 × 8時間)

*2: 分母の人員数は、FTEを使用

*3: 滑膜由来幹細胞加工受託件数を含まない

FY10/2024より、加工受託件数の集計時点を受託時から出荷時に変更しています。なお、当該変更による影響は僅少であることから、FY10/2023以前の数値は遡及修正を行っていません。

その他アップデート

提携医療機関向けのサービス向上と美容領域でのシナジー発揮、
中長期ビジョンで示す新たな事業への活用が狙い

案件概要

- 対象企業 株式会社メディベース
- 事業内容 電子カルテの開発、運用、保守
- 株式取得の方法 株式譲渡
- 取得割合 100%
- クロージング 9月中を想定

同社の強み

- 診療情報の一元管理とクラウド活用による情報セキュリティの向上を実現する電子カルテサービスを提供
- 医療機関の業務効率化を大幅に促進し、予約機能やCRM機能により、医療機関の業績改善にも貢献

狙い

- 当社が持つ優れた技術及びノウハウの取り込み
- セルソースの提携医療機関向けのサービスに活用
- 美容領域でのシナジー発揮
- 新たな事業への展開



MEDiBASE

当局の監視強化を業界発展の好機と捉え、今後もガイダンス等の遵守とタイムリーな情報提供を徹底

2024年7月31日公表
「エクソソーム等に関する安全性と品質管理
に関する事務連絡」

事務連絡
令和6年7月31日

再生医療等提供機関 管理者 殿

厚生労働省医政局研究開発政策課

幹細胞培養上清液及びエクソソーム等を用いる医療について（周知）

平素より厚生労働行政に御協力いただき厚く御礼申し上げます。

ヒトの幹細胞の培養上清液及び当該上清液に含まれる可能性のある細胞外小胞等の細胞の分泌物（以下「エクソソーム等」という。）を用いた医療（以下「当該医療」という。）については、現時点で、使用されるエクソソーム等で諸外国を含め有効性・安全性が示され、薬事承認を得て製造販売されている医薬品はありません。このため、当該医療を行う場合には、実施する医師・歯科医師の責任のもと、特にその安全性について留意する必要があると考えられます。

なお、一般社団法人日本再生医療学会より「細胞外小胞等の臨床応用に関するガイダンス（第1版）」が発出されており、同学会ウェブサイトにおいて公表されております。

当該医療を行う際には、その品質やリスクの管理等について、当該ガイダンスも適宜参照の上、安全な実施に努めていただきますようお願いいたします。

（参考）

「細胞外小胞等の臨床応用に関するガイダンス」（一般社団法人日本再生医療学会（協力：日本細胞外小胞学会））

<https://www.jsrm.jp/cms/uploads/2024/05/news14993-2.pdf>

内容

- 医療機関に対し日本再生医療学会の「細胞外小胞等の臨床応用に関するガイダンス（第1版）」を参照の上、安全な実施に努めることを推奨

ガイダンスの要旨

- 安心、安全なエクソソーム等療法の発展・開発のため今後の健全な方向性の提示
- エクソソーム等療法のリスクマネジメントの重要性
- エクソソーム等の製造工程および品質の基本的な考え方
- エクソソーム等のチェック項目ならびに効果検証の推奨事項

当社

- 承認された医薬品と誤認させたり、臨床的効果・効能を謳う事例が増加し、安全性への懸念が市場で広がっているとの認識

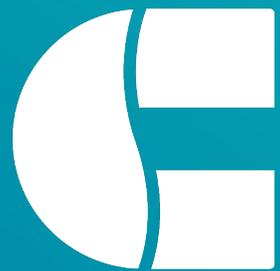
再生医療等安全性確保法に遵守した設備と管理体制
日本再生医療学会のガイダンスへの準拠

- 当社は安全性において他社との差別化が可能。厳格な基準遵守への動きは、市場における当社の強みとなり、信頼性の高い製品・サービスの提供につながる

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、市場環境、法的規制、品質・安全性の確保及び製造体制、特定の取引先、風評リスク、研究開発、広告宣伝戦略、システム障害等が含まれます。



CellSource